

パブリックコメントについて

平成 24 年 10 月

国土交通省 九州地方整備局

国土交通省九州地方整備局河川部河川計画課 宛

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について **001**  
～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)					
②住所		都道府県： ██████████ 市区町村以下： ██████████			
③電話番号又はメールアドレス					
④職業		⑤年齢	51	⑥性別	男
⑦御意見(御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)					
御意見の項目		御意見			
1) 白川流域への適用性について		(要旨)			
		河川を中心とした対策			
2) 治水対策案の組合せの考え方について		(意見)			
		ダムの上流は河道内の植木の伐採等により生態性が変わる。美しい山河に変化			
2) 治水対策案の組合せの考え方について		(要旨)			
		(意見)			
2) 治水対策案の組合せの考え方について		(意見)			
		多目的ダムではなく、洪水調整ダムが熊本市内は安全			

御意見の項目	御意見
3) 治水対策案について	(要旨)
	(意見) ダムは必要であるが 河口から築堤整備・掘削整備 河川の拡幅・貯留施設(熊本市内)
4) 概略評価による治水対策案の抽出について	(要旨)
	(意見) ダム建設により安全度が増す。

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について  
～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)					
②住所		都道府県： [REDACTED]		市区町村以下： [REDACTED]	
③電話番号又はメールアドレス					
④職業	鯉 職	⑤年齢	67	⑥性別	男
⑦御意見(御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)					
御意見の項目		御意見			
1) 白川流域への適用性について		(要旨)			
		(意見) 白川は熊本を代表する川であり、これはダムにより堰止められてはくありません。			
2) 治水対策案の組合せの考え方について		(要旨)			
		(意見) ダムも治水対策のひとつではありますが、万能ではない。景観やコストに配慮した対策を組み合わせがよいのではないのでしょうか。(ダムは高コスト)			

御意見の項目	御意見
3) 治水対策案について	(要旨)
	(意見) ダムによる治水対策がこれからのあるべき治水事業ではないかと思ひます。 結局ダムは満水になれば放水するしかないのですし、増水した河川の水位が一気に増える事になりかねないと思ひます。
4) 概略評価による治水対策案の抽出について	(要旨)
	(意見) 特にありません。

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について  
～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)		[REDACTED]					
②住所		都道府県：		市区町村以下： [REDACTED]			
③電話番号又はメールアドレス		[REDACTED]					
④職業	無	⑤年齢	78才	⑥性別	男		
⑦御意見(御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)							
御意見の項目		御意見					
1) 白川流域への適用性について		(要旨) 立野ダム建設予定の変更					
		(意見) 堤高60m位の予定ですが「私」の考えとしては現在予定地にかレキの受け止め対策が良いと思ふ。堤高20m位にして平常は車道に落ちる様に、増水時は車道をホバしてかレキ受け止めを受け止める方法、は如何。					
2) 治水対策案の組合せの考え方について		(要旨)					
		(意見) 土砂くづ水して材木やガレキが流れて来るのは山の多い阿蘇、南阿蘇地域場、立野から下流には、材木やガレキが白川に流れ出る所が少い。今年の雨量まで調整の後は役に立ると思ふ。					

御意見の項目	御意見
3) 治水対策案について	(要旨)
	(意見)
4) 概略評価による治水対策案の抽出について	(要旨)
	(意見)

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について  
～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)	[Redacted]					
②住所	都道府県:	[Redacted]			市区町村以下:	[Redacted]
③電話番号又はメールアドレス	[Redacted]					
④職業	会社員	⑤年齢	50	⑥性別	男	
⑦御意見(御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)						
御意見の項目	御意見					
1) 白川流域への適用性について	(要旨) 別紙参照					
	(意見)					
2) 治水対策案の組合せの考え方について	(要旨)					
	(意見)					

複数の治水対策案の立案及び、概略評価による治水対策案の抽出について（白川流域）についての意見です。

1. 4ページ：決壊しない堤防、決壊しづらい堤防がなぜ採用されていないのか。長大でなくても、あふれそうな一部区間だけでも採用すれば低費用で洪水が防げる
2. 10ページ、立野ダムの効果我非常に小さい文字で「 $\Delta 200\text{m}^3/\text{s}$ 」代継橋地点における効果と書いてある。 $200\text{m}^3/\text{s}$ は代継橋地点で何センチの水位低下に当たるのか。これくらいの効果はダム以外でも出せるはず。ダム建設には巨額の費用がかかるのに、治水効果はきわめて小さい。なぜダムが、いきなり治水案に採用されるのか？
3. 12、13pの河道掘削、14、15pの引き堤、16、17pの堤防のかさ上げ、26以降の遊水地などを組み合わせた治水効果はどれだけか？これらは組み合わせて実施すればもっと大きな効果になるはず。
4. 立野ダムの事業費はいくらか？立野ダムは現行計画での費用で建設できるのか？またいつ完成予定なのか？本当にその時期までに完成するのか？また、立野ダムが完成するまでの治水対策はどうするつもりか？ダムはいずれ砂がたまってしまい、寿命を迎えてしまう。その後の治水はどうするつもりか？
5. 意見書の提出様式が非常に書きづらい。なぜこのような様式にしたのか？

以上

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について  
～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)		[Redacted]			
②住所		都道府県:	[Redacted]	市区町村以下:	[Redacted]
③電話番号又はメールアドレス		[Redacted]			
④職業	自営	⑤年齢	67	⑥性別	男
⑦御意見(御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)					
御意見の項目		御意見			
1) 白川流域への適用性について		(要旨) 立野ダム建設を早急に			
		(意見) 穴あきダム - 4x4m - 4ヶも通状少なくして遊水池として水量を調整する。 就直して完成までの時間の掛けすぎ。 平成28年以來災害が無くかえ良きもの、その時は行政の人災である。 就直は進んでいけるのにまたまたしなして早く完成を、			
2) 治水対策案の組合せの考え方について		(要旨)			
		(意見)			

御意見の項目	御意見
3) 治水対策案について	(要旨)
	(意見)
4) 概略評価による治水対策案の抽出について	(要旨)
	(意見)

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について  
～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)		[REDACTED]			
②住所		都道府県	[REDACTED]	区町村以下:	[REDACTED]
③電話番号又はメールアドレス		[REDACTED]			
④職業	元船員	⑤年齢	70	⑥性別	男
⑦御意見(御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)					
御意見の項目		御意見			
1) 白川流域への適用性について		(要旨) 意見募集のトリック。住民誘導のじまかしを止めて。2,000m <sup>3</sup> を上回る。3,000m <sup>3</sup> 流れる。			
下線部分の意味不明: あいま、ダム線の直間か1~14等の直間か		(意見) 世継橋改良。平成22年2月に左岸が、20m以上の幅広さされた。20m×平均深さ7m×流速4m/sあたり500m <sup>3</sup> 以上、流量かぶる。 全長、110m×平均深さ7m×流速4m/sあたり3,020m <sup>3</sup> 世継橋で流れる。 平成14年白川河川治水計画の流量2,300m <sup>3</sup> を大幅に越えた。			
2) 治水対策案の組合せの考え方について		(要旨) ので、治水対策は何もせずによい。 上流はわからない。			
		(意見) 今しか、1等~14等のせいかと、2者採一させることは、単独な手段である。 上流のせいか、固まりの長さの勢力で治水の心配はなくなつたのである。 子飼橋、架け替え、子飼橋~明年橋向の幅を工事であり。ダムは必要ない。			

14  
560  
770.28  
308

御意見の項目	御意見
<p>3) 治水対策案について</p> <p>無駄な工事は止めて。 土建等は白川以外の仕事をさがさへさ</p>	<p>(要旨) <del>表紙のとおり</del>  <del>川は</del> <del>流域</del> <del>が</del> <del>極</del> <del>単</del> <del>に</del> <del>狭</del> <del>い</del>。他の河川に雨は流れる。ダムは不要。</p> <p>(意見)          昭和28年の水害は、鉄橋を木製からコンクリート製にした際、橋脚が多すぎて、流木が引っかけりかみ状になり、あき上流の兩岸堤防が欠けた。と熊日新聞に出たことがある。          これは、土井川が白川に出られが、逆流して市街地が水没したものだと思う。</p>
<p>4) 概略評価による治水対策案の抽出について</p> <p>市民に抽出させるのは、こく。 誘導。</p>	<p>(要旨)          掘削だけでよい。          日本は無駄な公共工事で、1,000兆円の借金</p> <p>(意見)          となった。ギリシアは30兆円の借金で、欧州の外債への制度がこぼれるとなった。          日本の田もどくに、破たんしている。          市街地の標高は9m、大甲橋標高は18m。          大甲橋白川の底は、7mか。天井橋はなし。</p>

国土交通省九州地方整備局河川部河川計画課 宛

007

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について  
～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)	
②住所	都道府県
③電話番号又はメールアドレス	
④職業	公務員
⑤年齢	48歳
⑥性別	男
⑦御意見 (御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)	
御意見の項目	御意見
1)白川流域への適用性について	<p>(要旨)立野ダムは、環境面で重大な影響があり、また地質上も非常に危険であり、白川流域へ適用すべきでない。水田の保全を治水対策案の組み合わせの対象に入れるべきである。</p> <p>(意見)立野ダム予定地の左岸は国指定の天然記念物である阿蘇北向谷原始林で、「阿蘇くじゅう国立公園」の特別保護地区にも指定されている。国立公園内にダムをつくっていいのか。もしつくるならば、天然記念物や国立公園の指定を解除しなければならないのではないかと。それでは、世界遺産登録をめざす阿蘇にとって致命的なダメージとなり、世論も許さない。また、洪水時の白川の水は多くの火山灰を含む。白川にダムを造っても、土砂や火山灰で早い段階で埋まってしまうことは明らかである。立野ダム工事事務所では、立野ダムの堆砂容量を検討中とのことであるが、2000年に入手した立野ダム資料によると、標高245mが「堆砂位」となっている。川底が標高200mとすると、45mも堆砂する計画だったのだ。立野ダムの堆砂問題に全く触れぬまま事業を進めるのは許せない。</p> <p>立野ダム予定地周辺の溪谷は、阿蘇カルデラ内の火山から流下してきた立野溶岩(溶結凝灰岩)で、冷却によって生じた角材状の割れ目(柱状節理)がよく見られ、巨大ダムを建設するには非常に危険な地質である。地質関係の資料を公開し、検討すべき重大な問題である。また、立野ダム予定地には、国内で地震発生確率の高い活断層である「布田川・日奈久断層帯」の一部である「北向山断層」が通っている。北向山林道を通り、立野ダム本体予定地左岸の地盤を見ると、多くの崩壊箇所が見られ、ダムをつくれば非常に危険であることが一目でわかる。洪水時に阿蘇の火山活動や地震などにより立野ダムが崩壊すれば、熊本市など下流域は壊滅の危機にさらされる。</p> <p>「ざる田」と言われ高い浸透能力を持つ流域の水田の保全は、治水対策案の組み合わせの対象に入れるべきである。洪水を河川に入れる前に水田にため込むようにすれば、安い費用で大きな水害防止効果があり、熊本の地下水の涵養にもつながる。</p>

2)治水対策案の組合せの考え方について	<p>(要旨)</p> <p>(意見) 河川を連続堤防で固定してしまえば川床に土砂が堆積するのは当然のことである。治水対策案①などの「河道の掘削」は、立野ダムを建設するか否かにかかわらず、実施すべき事業である。よって、立野ダムを建設する必要はない。</p> <p>流域の水田の保全は、治水対策案の組み合わせの対象に入れるべきである。洪水時に流域の水田55km<sup>2</sup>に20cm雨水をため込むように畦を高くするだけで、約1100万m<sup>3</sup>の容量があり、それだけで立野ダムの総貯水量1000万m<sup>3</sup>を超える。さらに流域の水田は「ざる田」と言われるように高い浸透能力を持つため、それ以上の水害防止効果がある。</p>
3)治水対策案について	<p>(要旨)</p> <p>(意見) 治水対策⑭に河道の掘削も含まれており、事業費を押し上げている。洪水時に流域の水田55km<sup>2</sup>に20cm雨水をため込むように畦を高くするだけで、約1100万m<sup>3</sup>の容量があり、それだけで立野ダムの総貯水量1000万m<sup>3</sup>を超える。さらに流域の水田は「ざる田」と言われるように高い浸透能力を持つため、それ以上の水害防止効果がある。治水対策⑭は、河道の掘削を除いて算定すべきである。</p> <p>(意見) 治水対策案①、⑪、⑫、⑬、⑭に、いずれも「JR白川橋梁の改築」「十八口堰改築」「薄場橋改修」「三本松堰改築」「渡鹿堰改修」などが含まれており、事業費を引き上げている。13ページの河川断面図では、いずれも1～2m程度の掘削であり、どの程度の改修費用を見込んであるか明らかにして比較検討すべきである。</p>
4)概略評価による治水対策案の抽出について	<p>(要旨)</p> <p>(意見) 概算事業費の内訳が示されていない。たとえば河川整備計画の「立野ダム」「河道改修」「黒川遊水地群」それぞれの事業費が書いてない。資料「平成23年度第2回九州地方整備局事業評価監視委員会 白川直轄河川改修事業 立野ダム建設事業」によると、河川整備計画の事業費は今回評価時(H23年度)河川:605億円、立野ダム:約905億円とあり、合計すると約1500億円となる。今回の資料43ページの河川整備計画の事業費約1000億円と大きく異なっている。河川整備計画の概算事業費が1500億円ならば、①河道の掘削、⑩黒川遊水地群の活用+河道の掘削の方が大きく下回っており、不十分である今回の資料だけを見ても①または⑩の案を抽出すべきである。</p> <p>(意見) 立野ダム案を含む各治水案の環境に与えるダメージや危険度、完成までの工期の見通し、「想定外」の洪水が起きた場合の対処、ダムの撤去費用等まで含めて比較検証しなければ、科学的な検証はできない。</p>

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について  
 ～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)	
②住所	都道府県
③電話番号又はメールアドレス	
④職業	
⑤年齢	
⑥性別	
⑦御意見 (御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)	
御意見の項目	御意見
1)白川流域への適用性について	<p>(要旨)立野ダムの適用性が「事業の進捗状況を踏まえて」という点でしか検討されていない。①環境面で重大な影響がある、②堆砂問題、③地質の問題、④想定以上の洪水に対処できない、⑤今後の事業費と期間などを考慮すれば、立野ダムを白川流域へ適用することは適当でない。実現性の高い方策が組み合わせの対象から外されている。</p> <p>(意見)①環境面で重大な影響がある 立野ダム予定地の左岸は国指定の天然記念物である阿蘇北向谷原始林で、「阿蘇くじゅう国立公園」の特別保護地区にも指定されている。立野ダム予定地自体も同国立公園の第三種特別地域に指定されている。立野ダムが建設されたならば、阿蘇北向谷原始林を含む同国立公園の広大な自然環境に致命的なダメージを与える。北向谷とダム予定地周辺のすばらしい溪谷は、国民の宝である。国立公園内にダムを造るべきではない。高さ90mのコンクリートの巨大構造物(立野ダム)ができれば、世界遺産登録をめざす阿蘇にとって致命的なダメージとなる。</p> <p>②堆砂問題 洪水時の白川の水は多くの火山灰を含む。白川にダムを造っても、土砂や火山灰で早い段階で埋まってしまうことは明らかである。また、穴あきダムは大量の土砂をため込み、周辺の山林を荒し、環境に大きなダメージを与える。洪水が終わった後もたまった土砂が流れ出し、長期間下流の川を濁すことは、川辺川上流の朴の木(ほうのき)ダムの例を見ても明らかである。</p> <p>③地質の問題 立野ダム予定地周辺の溪谷は、阿蘇カルデラ内の火山から流下してきた立野溶岩(溶結凝灰岩)で、冷却によって生じた角材状の割れ目(柱状節理)がよく見られ、巨大ダムを建設するには非常に危険な地質である。また、立野ダム予定地には、国内で地震発生確率の高い活断層である「布田川・日奈久断層帯」の一部である「北向山断層」が通っている。北向山林道を通り、立野ダム本体予定地左岸の地盤を見ると、多くの崩壊箇所が見られる。阿蘇の火山活動や地震などにより立野ダムが崩壊すれば、熊本市など下流域は大きな危険にさらされる。</p> <p>④想定以上の洪水に対処できない ダムによる治水は想定以上の洪水には対処できず、洪水調節能力を失ったダムは災害源としかならない。現存する洪水調節専用の穴あきダムは益田川ダム(島根県)のみであり、治水効果が大いに疑問視されている。</p>

	<p>⑤今後の事業費と期間など 立野ダムは、ダム本体工事や仮排水路工事に着手されていないにもかかわらず、総事業費約425億円のうちすでに約405億円が使われている。平成23年度の評価では立野ダム事業費は約905億円となっている。川辺川ダムなどの例を考えるとさらに事業費が大きく膨らむことが容易に考えられる。立野ダム本体工事に着手するには、ダム基本計画の変更、白川の漁業者への補償交渉と同意、流域住民への説明など、これからも長い期間が必要である。</p> <p>「決壊しない堤防」が組み合わせの対象になっていない。長大な堤防をつくらなくても堤防内に地中連続壁をつくるなどして決壊しない堤防をつくり、堤防の余裕高(1.5m)分も洪水を流す容量に組み込めば、より早く、より安全に治水対策ができるはずである。また、「ざる田」と言われ高い浸透能力を持つ流域の水田の保全、荒れた人工林を間伐し山林の保水力を高めること、阿蘇の草原を守り流域全体の保水力を高めることなども、治水対策案の組み合わせの対象に入れるべきである。</p>
2)治水対策案の組み合わせの考え方について	<p>(要旨)</p> <p>(意見)治水対策案⑫、⑬、⑭の「流域を中心とした対策」に、「河道の掘削」も組み込まれており、事業費を引き上げている。「河道改修」+「黒川遊水地群」+「流域を中心とした対策」の組み合わせも検討すべきである。</p>
3)治水対策案について	<p>(要旨)</p> <p>(意見)「ざる田」と言われ高い浸透能力を持つ流域の水田の保全は、治水対策案の組み合わせの対象に入れるべきである。洪水時に流域の水田約55km<sup>2</sup>に20cm雨水をため込むように畦を高くするだけで、約1100万m<sup>3</sup>の容量があり、それだけで立野ダムの総貯水量約1000万m<sup>3</sup>を超える。流域の水田が高い浸透能力を持つことを考えると、立野ダムより高い洪水調節能力がある。</p> <p>(意見)治水対策①河道の掘削、②引堤、③堤防かさ上げは、それぞれの案のみで治水対策を行おうとするものであるため、事業費が高くなる。たとえば、中流域の堰の周辺は堤防のかさ上げ、橋の周辺は河道の掘削、引堤がコスト的に安い区間は引堤というように、組み合わせる工夫をすれば事業費は低くなるはずである。</p>
4)概略評価による治水対策案の抽出について	<p>(要旨)概算事業費の内訳が示されていない。43ページの表の河川整備計画の事業費が約1000億円となっているが、立野ダムだけで905億円であることから考えても1000億円を大きく超えることは明らかである。また、コストを重視して評価しようとするものであり、科学的な検証ではない。</p> <p>(意見)概算事業費の内訳が示されていない。たとえば河川整備計画の「立野ダム」「河道改修」「黒川遊水地群」それぞれの事業費が書いてない。資料「平成23年度第2回九州地方整備局事業評価監視委員会 白川直轄河川改修事業 立野ダム建設事業」によると、河川整備計画の事業費は今回評価時(H23年度)河川:605億円、立野ダム:約905億円とあり、合計すると約1500億円となる。今回の資料43ページの河川整備計画の事業費約1000億円と大きく異なっている。河川整備計画の概算事業費が1500億円ならば、①河道の掘削、⑩黒川遊水地群の活用+河道の掘削の方が大きく下回っており、コストのみを考えても①または⑩の案を抽出すべきである。</p> <p>(意見)「概略評価による治水対策案の抽出」は、ただ単に14の治水案を併記し、コストを重視して評価しようとするものであり、極めてずさんである。立野ダム案を含む各治水案の環境に与えるダメージや危険度、完成までの工期の見通し、「想定外」の洪水が起きた場合の対処、ダムの撤去費用等まで含めて比較検証しなければ、科学的な検証はできない。立野ダムは1)で述べたとおり、非常に危険なダムであり、コスト(概算事業費)のみによって治水方法を決めるべきではない。</p>

国土交通省九州地方整備局河川部河川計画課 宛

009

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について  
～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)	[REDACTED]				
②住所	都道府県： [REDACTED]		市区町村以下： [REDACTED]		
③電話番号又はメールアドレス	[REDACTED]				
④職業	自営	⑤年齢	52	⑥性別	男
⑦御意見(御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)					
御意見の項目	御意見				
1) 白川流域への適用性について	<p>現在の河川整備計画は、ダムありきの計画となっていると思います。治水はほかの方法でも可能でしょうし、コストも精査すべきです。誰も検証できないコストの積算でダムが安価と言われても熊本市民としてそのまま信用することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇地域は、世界遺産をめざす熊本の貴重な観光資源です。予定地の北山原生林は紅葉が美しく鉄橋をわたる鉄道が撮影スポットともなっています。この近くにダムを建設することは観光資源にとって大きなダメージとなります。</li> <li>・穴空きダムが治水に効果があると実証されているのでしょうか。壮大な実験を貴重な自然を壊して多大な税金を投入してまで実行する必要はありません。</li> <li>・一国民、一市民として作るためのダム事業にもううんざりです。</li> </ul>				
2) 治水対策案の組合せの考え方について	(要旨)				
	(意見)				

御意見の項目	御意見
3) 治水対策案について	(要旨)
	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダム計画の予定地の地質が脆弱です。コンクリートを流し込むという事まで資料に書いてありましたが、このような地質のところにダムを作り始めたら幾ら工事費がかかるのかわからないのが突態ではないでしょうか。納税者として納得できません。いくら工事費が増えても計画を見直さない現在のやり方には大きな不信感を持っています。</li> <li>・脆弱な地質の場所にダムをつくることは下流域の住民としてその危険性を無視できません。大きな危険性を含むダムという工作物を上流につくる選択肢はあらゆる治水方法に比べて不安が最も大きいものです。</li> </ul>
4) 概略評価による治水対策案の抽出について	(要旨)
	(意見)

国土交通省九州地方整備局河川部河川計画課 宛

010

立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について  
～立野ダム建設事業の治水対策案について～

①氏名(フリガナ)		[REDACTED]			
②住所		都道府県： [REDACTED]		市区町村以下： [REDACTED]	
③電話番号又はメールアドレス		[REDACTED]			
④職業	建設業 技術者	⑤年齢	6 4	⑥性別	男
⑦御意見(御意見が長文の場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)を添付してください。)					
御意見の項目		御意見			
1) 白川流域への適用性について		<p>(要旨) 河川への対策としては、立野ダム建設と堤防のかさ上げが良いと思われる。流域への対策としては、遊水機能を有する土地の保全及び水田等の保全・向上対策が有望と思われます。</p> <p>(意見) 適用性については、現在進行中である立野ダム建設事業を進捗させた上合流する黒川河川流域の遊水地整備を急ぐと共に、白川中流域区間に於いて現堤防のかさ上げ及び水田及び低地部の遊水地等の土地の保全・向上対策を行うべきと思います。 対費用効果では、河道掘削が低コストではありますが、水生生物(魚貝類等)の保全及び環境保全を考慮すれば最小限の区間にすべきであると思います。</p>			
2) 治水対策案の組合せの考え方について		<p>(要旨) 現在進行中の立野ダム建設を中軸として、雨水の河川への流出を抑制し、且つ洪水氾濫に対して防ぐ案の組合せが良いと思われます。</p> <p>(意見) 立野ダムを治水対策の中軸と考え、合流する黒川流域の洪水対策を推進させる。 白川中流域区間については、田畑及び低地等を活用して保全・機能向上させて河川への雨水流入を抑制する。 現状の河川堤防を改築して洪水氾濫の対策を講じる。 以上の組合せによる総合対策が良いのではないかと思います。</p>			

御意見の項目	御意見
3) 治水対策案について	<p>(要旨) 現河川整備計画の実施を進捗させた上、治水対策案として堤防のかさ上げを行い、中流域へはできるだけ雨水の河川への流出を防止する案を推進させることが良いと思われま</p>
	<p>(意見) 治水対策案の中で特に、雨水流失を抑制する案(12)、洪水氾濫に対して家屋を防ぐ案(13、14)等は用地の確保等の地域社会への影響が大きくまた実現性に疑問が残ります。 立野ダム建設は現在進行中であり、本体の着工が可能であると承知しています。その上で、洪水を安全に流下させ且つ中流域の治水対策として雨水を河道外に貯留させるよう対策を推進させ、且つ環境に配慮することが良いと思われま</p>
4) 概略評価による治水対策案の抽出について	<p>(要旨) 対コストで評価すれば、河道の掘削が低く思われますが、今後過去にはなかった洪水が発生する場合を考え、ダムによる治水を主に環境に配慮して実現性のある治水対策案を抽出するべきであると思いま</p>
	<p>(意見) 対コストで評価をすれば、河川整備計画とともに、堤防のかさ上げ及び黒川遊水地の整備、中流域における水田等の保全・向上、遊水機能を有する土地の確保等を実施することが良いと思いま</p>

平成23年11月14日

## 「立野ダム建設事業の治水対策案に関する意見」

国土交通省九州地方整備局 意見募集係り御中

70歳 元銀行員

貴下に置かれましては益々毎日のお仕事にご精励され、国民生活の安全を守ってくださることに感謝申し上げます。

パブリックコメント募集資料を拝見し下記の通り意見具申いたします。

記

## 第1 治水対策案

- 1 立野ダムは中止する。(熊本・阿蘇・白川に予定のもの)
- 2 土砂を排除する。(熊本市中心街傍を通る1級河川「白川」には、膨大な土砂が放置されている。土手保護用河川敷としては多すぎる)
- 3 治水対策はもういらぬ。(充分だ)

## 第2 理由

- 1 もう洪水は起きない。  
平成22年に洪水基準点、熊本市中心部の世継橋の架け替え工事が終わった。川幅が111mとなった。川幅が20メートル以上広がったので、800m<sup>3</sup>多く流れるようになった。20m×深さ10メートル×流速1秒間4m=800
- 2 平成14年計画は世継橋で1秒間2,300m<sup>3</sup>の洪水を、立野ダムと遊水地で300トン制御して2,000m<sup>3</sup>流すもの。
- 3 世継橋際拡幅で、300トンを超える800トンの流量が可能となった。
- 4 世継橋基準点で現在は3,550トン流れるようになった。  
川幅111m×平均深さ7m×水流速度4m=3,108トン  
特殊堤111×1×4=444トン 3,108+444=3,552トン  
平成14年策定「白川河川整備計画」2,300トンよりも1,252トン多く流せるのだ。よって、立野ダム建設理由は無くなった。
- 5 今年の大雨は記録開始以来の大雨だったが、流れた。洪水は起きなかった。
- 6 熊本市役所が昭和28年に浸かったのは、コンクリート橋に架け替えた子飼橋の橋げたに流木が詰まりダムとなり、すぐ上の白川両岸が決壊したため、洪水が熊本市中心街を襲ったもの。橋げたを多く設計した熊本大学教授の責任だ。  
また、依頼した国の責任だ。
- 7 穴あきダムは欺瞞だ。穴はすぐに詰まる。流木や土砂を排除する費用がかさむ。
- 8 昭和56年ごろ、熊本駅手前の前祇園橋電停付近で白川が溢れそうになったが、理由は熊本駅前の白川左岸に大量の土砂があり、その上で、毎年、植木市を開催していたためだ。今は、植木市は無くなったので、土砂を排除したら、洪水が防げる。植木市は洪水を悪意で引き起こして、ダムを造る世論を起こすためだったのではないか。平成12年ごろの建設省熊本工事事務所長が九州内部会議

で、意図的に洪水を起こすことを「こぼす」といつているという議事録がある。「・・今でも特殊堤で流れる。・・立野ダムひとつぐらいは吹っ飛ぶ。造るなら、こぼすしかない・・」と。

- 9 そこより下流右岸二本木にも大量の土砂がある。  
もつとも、土砂を排除しなくても洪水は起きなくなったので治水対策は必要ない。熊本駅用の駐車場を2,000台分河川敷に造ってほしい。
- 10 熊本市役所前を流れる坪井川が白川への合流地点出口で出られず市内へ逆流すると、坪井地区で浸水していたが、いまは、その坪井川上流に100ヘクタールの遊水地ができてからは、坪井川流域でも氾濫は無くなった。
- 11 熊本市役所ロビーで閲覧したイラストに、熊本市役所が浸水しているものがあるが、ごまかしと、トリックだ。いかにも「熊本市中心部は天井川（川底が兩岸よりも高い）だから危険だ」と誘導しているが、白川は天井川ではない。標高を隠している。  
市役所の標高は9メートルぐらい、白川の川底の標高は7メートルか。大甲橋の標高は18メートルか。  
今年、最高記録の大雨が降ったが洪水は起きなかった。
- 12 阿蘇カルデラ内部の黒川に遊水地が出来たので、ダムの代わりになった。
- 13 カルデラを出たら、白川への流入地域は極めて細くなる。他の川へ雨水は分散される。白川流域は1本の棒状となる。よって、白川への流量は非常に少ないといえる。
- 14 意見募集の題名は、「立野ダム建設事業の治水対策案に関する意見」とせよとあるが、「立野ダムは当然作ったうえでの対策案を募集する」と読めるように誘導している。人間をごまかす手段を使っている。悪く言えば、悪代官が、平民をたぶらかしている。事業名は「白川河川整備事業」で、立野ダムの文字はないのではないか。冒頭には「立野ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集」と書いてある。中央官庁の方針を九州で勝手に捻じ曲げている。卑劣だ。国民侮辱だ。傲慢不遜だ。
- 15 資料の案の提示方法にもごまかしとトリックがある。ダム不要案は無きがごとくだ。14案なのか15案なのか分からない。どこの土砂を取り除くのか分かる人は誰もいないはずなのに、さらに、いく通りも組み合わせているので益々分からない。意見を言う人が一人もないことを狙っているのではないか。
- 16 白川にはアユが大量にいる。有明海の水産物は阿蘇山の土砂、清水で生きている。生物多様性の大自然を壊さないでほしい。
- 17 穴あきダムはいかに自然を壊さないと思わせるが、そこで数時間だけ300トンを制御するという発想自体が幼稚すぎる。工事代金だけが目当てと誰にでも分かっている。見え見えのごまかしだと分かっている。  
国民は、お人よしだから黙っているが、それをよいことに、税金を横領するようなことは許されない。
- 18 平成14年の熊本市市民委員会の意見はどうなったのか。ダムは不要となったので9年間凍結したのではないか。又ぶり返すのは止めてほしい。
- 19 九州地方整備局は廃止して、県に帰属して、税金の無駄づかいを減らしてほしい。  
以上。